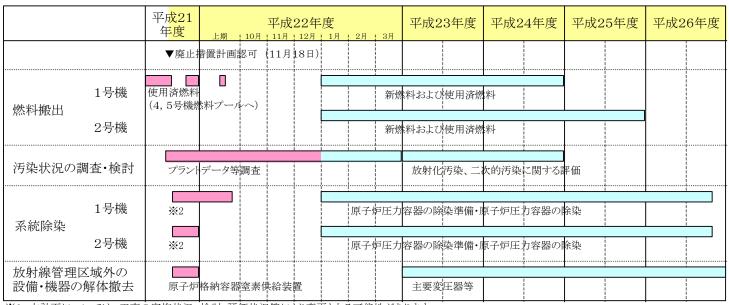
浜岡原子力発電所1,2号機 廃止措置状況 (平成22年度 第3四半期 自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

1 第1段階「解体工事準備期間」の進捗状況について

1,2号機の廃止措置の第1段階「解体工事準備期間」では、燃料搬出、汚染状況の調査・検討、系統除染および放射線管理区域外の設備・機器の解体撤去を実施しています。

第1段階「解体工事準備期間」の進捗状況※1



- ※1 本計画については、工事の実施状況、検討・評価状況等により変更となる可能性があります。
- ※2 原子炉再循環系、原子炉冷却材浄化系および余熱除去系の除染(2号機は原子炉再循環系を除く)。

【特記事項】

•廃止措置計画変更認可申請:平成22年12月27日

2 燃料搬出の状況について(単位:体)

今四半期において燃料搬出の実績はなし。

(平成22年12月31日現在)

分類	保管場所	項目	1号機	2号機	備考
使用済燃料	燃料プール	貯蔵数(当初) ^{※1}	206	1,164	
		搬出数(前四半期末まで)※2	205	0	
		搬出数(今四半期中)	0	0	
		貯蔵数(今四半期末)	1	1,164	
新燃料	燃料プール	貯蔵数(当初)※1	0	148	
		搬出数(前四半期末まで)※2	0	0	
		搬出数(今四半期中)	0	0	
		貯蔵数(今四半期末)	0	148	
	新燃料貯蔵庫	貯蔵数(当初) ^{※1}	96	52	
		搬出数(前四半期末まで)※2	0	0	
		搬出数(今四半期中)	0	0	
		貯蔵数(今四半期末)	96	52	

- ※1 廃止措置計画認可申請書に記載した、平成21年4月1日時点の保管場所毎の数量。
- ※2 平成21年4月1日より平成22年9月30日までの搬出数。

3 汚染状況の調査・検討について

目的	現在の状況
放射線管理区域内の設備を適切に 解体撤去する計画を立案するために 実施。	1、2 号機の建屋内に残存する放射性物質(汚染)の「量」と「分布」を把握するための現場調査に先立ち、運転履歴や放射線管理記録による机上調査を実施中。

4 系統除染の状況について

今四半期において作業の実績はなし。

施設の名称	工事件名	目的(工事の概要)	作業期間	実績等			
_	_	_	_	_			

- 5 放射線管理区域外の設備・機器の解体撤去の状況について
- (1)解体撤去工事の状況

今四半期において作業の実績はなし。

施設の名称	工事件名	目的(工事の概要)	作業期間	実績等
_	_	_	_	_

(2)放射線管理区域外の解体撤去物(放射性廃棄物ではない廃棄物)の発生・処分状況 (単位:トン)

今四半期において解体撤去物の発生・処分の実績はなし。

(平成22年12月31日現在)

	1号機							2号機					
発生量			処分量				発生量 処分			- 一量		備考	
	今期	累計	今期 累計		今期	累計	今期		累計		1 /		
		米 印	構外※1	構内※2	構外※1	構内※2	一旁	※ 印	構外※1	構内※2	構外**1	構内**2	
金属類	0*3	0	0	0	0	0	0*3	0	0	0	0	0	
コンクリート類	0*3	0	0	0	0	0	0*3	0	0	0	0	0	
その他	0*3	0	0	0	0	0	0*3	0	0	0	0	0	
合計	0*3	0	0	0	0	0	0*3	0	0	0	0	0	

- ※1:発電所敷地外に産業廃棄物・有価物等として搬出した量。
- ※2:発電所敷地内において再利用した量。
- ※3:平成21年度に実施した1、2号機不活性ガス系解体撤去工事は、原子炉格納容器窒素供給装置の解体撤去までを実施済。工事に伴い発生した解体撤去 物は、解体撤去物の分別および発生量測定を行い、平成23年度以降に処分予定。なお、処分にあたり発電所敷地外へ搬出する際、放射性物質の混在がないことを確認する。

6 今後の予定

●施設定期検査について

施設定期検査は、以下の年月日よりそれぞれ約3ヶ月の期間で受検。

- 1 号機:平成 23 年 1 月 25 日
- 2 号機: 平成 23 年 1 月 27 日